

# 競 技 要 項

## 1. 試合方法・試合時間

- Sリーグは2019年度前期大会の結果に基づき、Aグループ（1、6、7位）とBグループ（2、5、8位）、Cグループ（3、4、2019年度新規加盟チーム）の3グループに分ける。
- 各グループで総当たり予選リーグ戦を行い、第2項に定める順位決定方法に従い順位を決定する。
- 上項で決定した順位をもとに順位決定リーグを行う。  
1-3位決定リーグ：各グループ1位  
4-6位決定リーグ：各グループ2位  
7-9位決定リーグ：各グループ3位  
(順位決定リーグについては、パックスによりホームチームを決定する)
- Uリーグは全チームによるトーナメント戦を行う。第3ピリオド終了時に同点の場合はサドンデス方式によるPSSを行い、勝敗を決する。
- 試合時間は、全試合とも正規15分×3ピリオド、練習・休憩5分間とする。  
ただし、Uリーグについては、貸切終了時刻2分前で打ち切りとする。打ち切り時に同点の場合はただちにサドンデス方式によるPSSを行い、勝敗を決する。

## 2. 順位決定方法

リーグ戦においては、勝ちを3点、引き分けを1点とし勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が並んだ場合は、以下1)～8)の条件順で順位を決定する。

- 1) 勝ち数の多い順
- 2) 当該チームの対戦成績
- 3) 当該チーム同士（3チーム以上）の試合で得失点差の大なるもの
- 4) 当該チーム同士の総得点÷総失点の商が大なるもの（小数点以下まで有効とする）
- 5) 全試合の得失点差の大なるもの
- 6) 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- 7) 全試合のペナルティータイム（分）の少ないもの
- 8) 昨年度の後期大会において順位が上位であるもの

## 3. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則（第4項）を除いて、原則として国際競技規則（※）による。  
※2019-2020 IIHF ルール変更を適用する。

## 4. 補助規則

- 4-1) 棄権 試合を棄権するチームは、試合前日の17時までにその理由を運営委員まで電子メールにて [entry@tihf-senior.com](mailto:entry@tihf-senior.com) まで届ける事。その場合0:15不戦敗となる。ただし、大会要項のキャンセル規定に定められた試合費を負担する。
- 4-2) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合を没収試合とし不戦敗とする。
- 4-3) 同一年度内の移籍は、これを認めない。同一年度内に一旦他道府県連盟に登録した後、東京都連盟の再登録についても、これを認めない。
- 4-4) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。（発覚次第退場とする）当該選手がポイント（ゴール・アシスト）をあげても無効となる。  
当該選手がペナルティをおかした場合は代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。（背番号だけの間違いは発見次第直ちに修正する事。ポイントは認められ、出場可能。）
- 4-5) 試合の実施は試合開始時までにゴールキーパー1名とプレーヤー5名若しくはプレーヤー6名、第2ピリオド開始までにキーパー1名とプレーヤー5名をミニマムとし、それ以下の選手数のチームは棄権したとみなし不戦敗とする。（キーパーが試合開始までにリンク上に居ない場合はプレーヤー6名で開始し、第2ピリオド開始時にリンク上に居なければ不戦敗とする。）怪我やゲームアウト等で最低人数を下回った場合は、その時点で不戦敗とする。  
また、両チームが人数不足の場合は、両チームとも-15点とし、両チーム不戦敗とする。トーナメント方式
- 4-6) オンアイスオフィシャルについて、Sリーグは、レフェリー委員会よりレフェリー（2名）・ラインズマン（2名）を派遣する。Uリーグはレフェリー委員会よりレフェリーを派遣し、ラインズマンは2回戦までは当番チーム1・2から 2019年度（前期・後期）登録済みのラインズマン計2名を出す。

- 4-7) 当番チームは、オフアイスオフィシャルとしてペナルティーアテンダント 2 名・タイマー1 名・ペナルティタイマー1 名・記録 1 名・アナウンサー1 名（計 6 名）が開始 30 分前までに集合し、当番試合のオフィシャルを務める。  
 オフィシャルを 2 チームで担当する場合は、各チームから 3 名ずつが当番に当たり、原則として当番 1 がペナルティタイマー、記録、アナウンサーを務め、当番 2 がタイマーとペナルティーアテンダントを担当する。なお、各当番チームの最低 1 名はチームに所属する選手・スタッフであるものとする。  
 当番の肩代わりはトラブルの原因となりやすいので極力避けること。やむを得ず肩代わりする場合は、試合開始日の前日の 17 時までにはその理由を連盟まで文書にて届けること。尚、当番欠席により試合が行えなかった場合、または当番に人数不足が認められた場合・遅刻の場合は別に定める罰金を支払う事。  
 （上記の様な当番の欠席・人数不足・遅刻があった場合、試合後当該対戦チームの部長名でその旨を FAX、または電子メールで連盟に報告して下さい）
- 4-8) S リーグは当該試合の「チーム責任者」をオールメンバー表に記入し提出すること。「チーム責任者」は監督・コーチリストに記載されている選手、スタッフが務めるものとする。  
 （「チーム責任者」はユニフォームを着用した選手も可とする）
- 4-9) ベンチ入りできる最大人数は 25 名とする。（選手:22 名、スタッフ:3 名）
- 4-10) 選手、スタッフは試合当日に検温を行い、37.5℃未満であればメンバー表にチェックを付けて提出すること。選手、スタッフ、およびその近親者に37.5℃を超える発熱がある場合はリンクに立ち入らないこと。
- 4-11) ゲームミスコンダクトペナルティ以上のペナルティに関しては、連盟のガイドラインに沿って処分を科すものとする。
- 4-12) リンク内ではつばを吐く行為を禁ずる。当該行為が認められた場合はゲームミスコンダクトペナルティを科し、連盟のガイドラインに沿って処分を科すものとする。
- 4-13) Sリーグはヘルメット・ユニフォーム・パンツ・ストッキングを統一すること。  
 Uリーグはユニフォーム・ストッキングを統一すること。
- 4-14) Sリーグ、Uリーグともに全選手が必ずマウスガード、およびバイザー（フルフェイスマスクを含む）を装着するものとする。
- 4-15) Sリーグの順位決定リーグ、Uリーグのトーナメントについては試合開始前にパックスを行い、当該試合のホームチームを決定する。
- 4-16) 試合開始前、試合終了後の握手は行わない。
- 4-17) Uリーグはボディチェックを禁止する。
- 4-18) 10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。
- 4-19) Uリーグについては、同一の試合で 3 回ペナルティを課せられた選手は、その試合の残り時間を退場となる。当該ペナルティは代行選手により遂行される。また、ダブルマイナーペナルティは 2 回のペナルティ、ミスコンダクトペナルティは 1 回のペナルティとみなす。ただし、ペナルティが失点によりウォッシュアウトされた場合はペナルティ回数に含まない。
- 4-20) Sリーグ、Uリーグともに観客は入れないものとする。
- 4-21) 選手、スタッフ、オフィシャルは試合 2 週間前より、別に定める「検温・問診チェック表」に体温、体調および簡単な外出メモを記録すること。
- 4-22) 近親者・勤務先等に感染者が出て濃厚接触者となった場合は、その旨をチーム代表者より電子メールにて [entry@tihf-senior.com](mailto:entry@tihf-senior.com) に連絡し、2 週間活動を自粛する。

罰則) 監督会議・レフェリークリニック・当番に遅刻・欠席及び試合を棄権・未登録選手の出場及び連盟規約違反をした場合、罰金より無期限試合出場停止迄の罰則を課す。

## 5. 試合結果報告 (Uリーグのみ)

- 各試合について、当該チームと当番チーム（計 4 チーム）はそれぞれ個別に、下記都連 HP のスコア報告サイトに連絡すること。（試合終了後現場から携帯電話・スマートフォン等で送信すること）

スコア報告サイト	<a href="http://tihf.jp/prpi">http://tihf.jp/prpi</a>
アクセス ID	tihf

（正確を期するために必ず 4 チームからの結果連絡をお願いします。）